



「おかやま教育の日」
11月1日

教育通信

こころのわ
KO KO RO NO

●学校・家庭・地域社会の「心」を結ぶ●



VOL. 26



岡山県「ばっちりモグモグ」
生活リズム向上マスコットキャラクター

特集 家庭学習の定着に向けて ～保護者の関わり～



子どもたちの成長のために…

今年の夏、昭和52年以来39年ぶりに、岡山県を主会場県として全国高等学校総合体育大会（インターハイ）を開催しました。競技に参加する選手たちはもちろん、競技を支える補助員やボランティアなど、多くの高校生が、それぞれの役割を担って活躍しました。そのまなざしは真剣で、その姿はたくましいものであり、全国から本県に集まった多くの人々に感動を与えました。こうした活躍の機会を与えられた子どもたちは、様々な人と関わり、苦労を重ねながら課題を乗り越え、1つのことを成し遂げることで大きく成長します。日々の学習や文化・スポーツ活動、学校行事など、何かに真剣に取り組むこと

が、いかに大切であるかをインターハイを通して改めて感じました。

「教育にたずさわる者としての喜びは何か」と問われれば、「子どもたちの成長である」と多くの人々が答えるでしょう。子どもたちの成長にはとりわけ家庭での支えが重要です。本誌では、子どもたちの学力向上のために、家庭での保護者の関わり方について特集しています。子育てのヒントにさせていただきたいと考えています。今こそ、学校と、家庭と、地域が、手を結び、子どもたちの成長のために歩みを進めていきましょう。

岡山県教育委員会教育長 たけい ちくら 竹井千庫

目次

- 1～3面 特集「家庭学習の定着に向けて～保護者の関わり～」
- 4面 第2次岡山県教育振興基本計画の概要について・G7倉敷教育大臣会合を終えて
- 5面 写真で振り返るインターハイ
- 6面 充実した県立高校の学び
- 7面 いじめ防止ポスター・わが家のすこやか日記
- 8面 シリーズ教育相談Q&A・相談窓口一覧

家庭向け教育情報誌 Vol.26 平成28年10月
編集・発行／岡山県教育庁教育政策課
〒700-8570 岡山市北区内山下2丁目4番6号
☎(086)226-7569

この「こころのわ」は、子どもたちをすこやかに育てていくうえで必要な情報を県内の保護者の皆さんに提供します。

※「こころのわ」は県のホームページからダウンロードできます。

家庭での過ごし方は、ここが大切!!

『生活習慣』と『学習習慣』の両面から考えよう!!

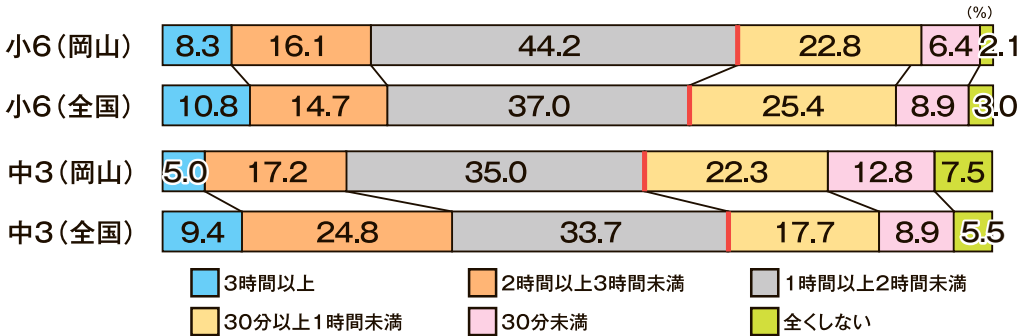
平日に、授業時間以外で1時間以上学習すると回答した割合は、全国に比べて、小学生は多いけど、中学生はずいぶん少ないね。



©岡山県「うらっち」

学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)

資料：平成28年度全国学力・学習状況調査



3時間以上 2時間以上3時間未満 1時間以上2時間未満
30分以上1時間未満 30分未満 全くしない

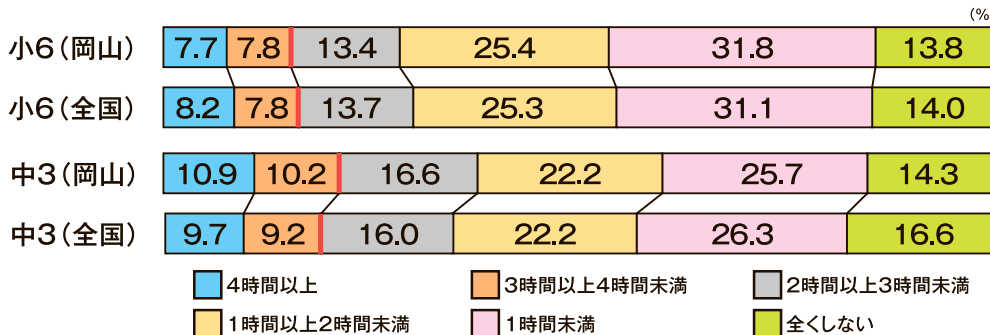


©岡山県「ももっち」

平日に、テレビゲーム(スマホ等も含む)をする時間が3時間以上と回答した割合は、全国に比べて、小学生は少し少ないけど、中学生は多いね。

普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピューターゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか。

資料：平成28年度全国学力・学習状況調査



4時間以上 3時間以上4時間未満 2時間以上3時間未満
1時間以上2時間未満 1時間未満 全くしない

メディアツールの長時間使用注意!!

スマホ・ネットの過剰使用により、生活リズムとともに、家庭学習や睡眠の時間が十分に確保されていないことが問題になっています。特にスマホの長時間使用が問題となっています。本当にスマホを所有する必要があるかを、家庭でしっかり話し合みましょう。

知っていますか？ 睡眠の大切さ

夜10時から朝4時に睡眠することで、成長ホルモンが分泌されると言われています。

家庭で子どもとしっかりと話し合っ決めて「ルールづくり」 良い習慣を身に付けるためには大変重要です。

保護者からの一方的なルールにならないよう、子どもの考えをしっかりと聞くとともに、保護者の気持ちも伝え、必ず話し合いながら決めましょう。また、ルールを決めることが目的ではありません。その後そのルールが守られているかを確認し、必要に応じて見直しましょう。

まずは 1日の学習時間を15分増やし、スマホやゲームの時間を15分減らそう

『家庭学習のルールづくり』のポイント

<p>学習の習慣化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 学習を始める時間 ■ 学習する場所 ■ 学習する量 (「時間」「ページ数」の2つを目安に)
<p>場所の整理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 学習する場所の整理整頓 ■ 学習に必要な物の準備 (文房具、教科書 など)
<p>学習の進め方</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①宿題 ②自主学習1 (授業の復習や予習) ③自主学習2 (子どもが考えた学習)

保護者の声

我が家にはスポーツ少年団に所属している小学生の子が2人いますが、我が家の学習のルールは、「子どもが伸びる家庭学習」を参考にして、始める時刻や学習時間は曜日毎に決めました。生活リズムに合わせた学習習慣が徐々に身に付いているように思います。

『メディア使用のルールづくり』のポイント

スマホなどのメディアを使用するに当たり、その便利さや楽しさだけでなく、危険性も子どもとともに理解し、ルールづくりの必要性を伝えましょう。

- 保護者がスマホなどのメディアを預かりましょう。(午後9時以降)
- ゲームを含めたメディアの使用時間が長くないようにして、終了時刻を午後9時までにしなす。
- メディアを使用する場所
(子どもが1人きりの場所で使用させない。)

保護者の声

我が家には、中学校2年生の女の子がいて、話し合った結果、次のルールを決めてスマホを所持させました。この機会に娘の自己管理能力が上がったと前向きに考えています。

- ・ 午後9時になったら親に預ける。
- ・ 勉強中や食事中、また、自分の部屋で使わない。
- ・ 知らない人とメール等をしない。



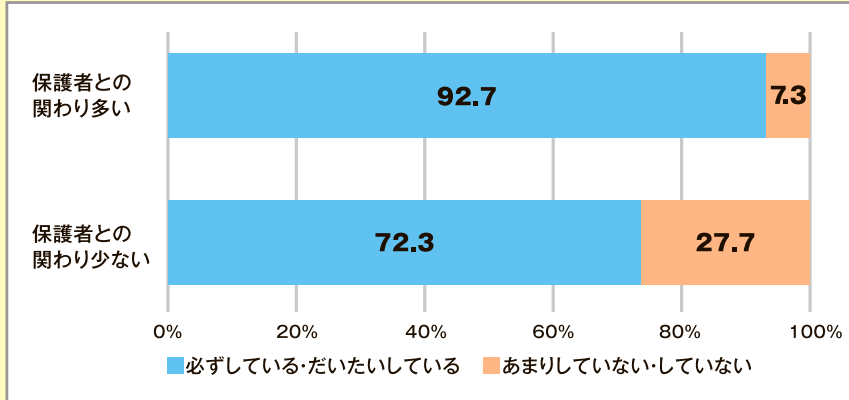
家庭学習のヒントはこれ

県教育委員会が昨年度に発行しました冊子には、ルールづくりのポイントや保護者の関わり方等が具体的に書かれていますので、ぜひ参考にしてください。

ポイントは子どもとのコミュニケーション! 家庭でのよりよい習慣づくりについて考えてみましょう

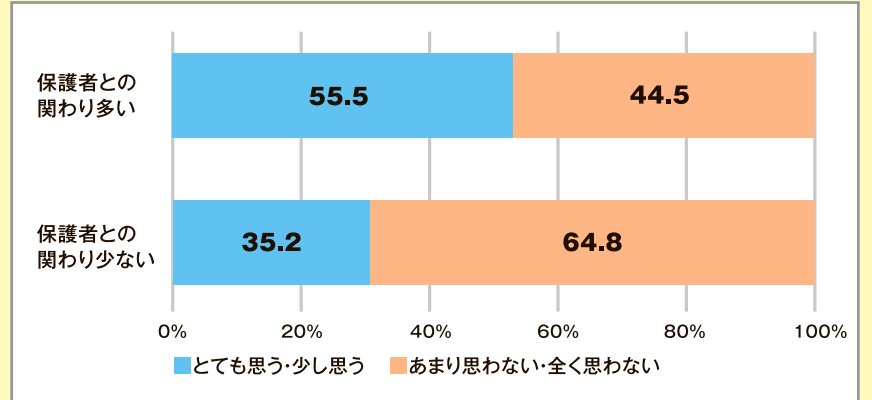
家庭教育は、すべての教育の出発点であり、子どもが「生きる力」の資質や能力を身に付けていく基礎をつくります。子どもが健やかに成長するためには、各家庭で、子どもの発達に応じた保護者の関わりが非常に重要です。

保護者の子どもの関わり(しつけ等)と生活習慣(朝食をとる、自分で起きる、家であいさつをする等)の関係(小学生)



参考:平成24年度青少年の体験活動等に関する実態調査

保護者の子どもの関わり(しつけ等)と「勉強は得意な方だ」の関係(小学生)



参考:平成24年度青少年の体験活動等に関する実態調査

子どもが幼い頃から、保護者が子どもに対して関わり(早寝早起き朝ごはんの習慣づけ、家庭内や近所でのあいさつ、家事の手伝いなど)をしっかりもつことで、生活習慣が定着したり、勉強が得意になるなどの傾向にあることが報告されています。

子育てに悩みはつきもの

子どもとコミュニケーションをしっかりと、保護者の気持ちを子どもにうまく伝えることができると、子どもも納得して自分の生活や行動を見つめ直すことができるのではないのでしょうか。



子どもが愛されていると実感できるコミュニケーションをとる

子どもは、愛され理解されたがっている存在です。
「日頃から子どもの話をじっくり聞く」「子どもの気持ちになって考える」「深い関心を払う」といった姿勢を親が身に付けることで、子どもは親に愛されている実感を得ることができます。
子どもは愛されていると感じるとき、安定した気持ちで問題に立ち向かうことができます。

「叱られる側」の子どもの立場も考えてみる

しつけは大切ですが、しつけなくては、という気持ちから、つい手を出してしまい、その行為に歯止めがきかなくなってしまう場合もあります。子育てのイライラやストレスが、子どもへの愛情を忘れさせ、叱るという行動にすりかわっているのではないのでしょうか。
上手な叱り方のヒントは、「叱られる側」の子どもの立場になって考えること。「そう言われたら子どもはどう感じるだろうか」「子どもはどう受けとめるだろうか」まず、ここから考えてみましょう。

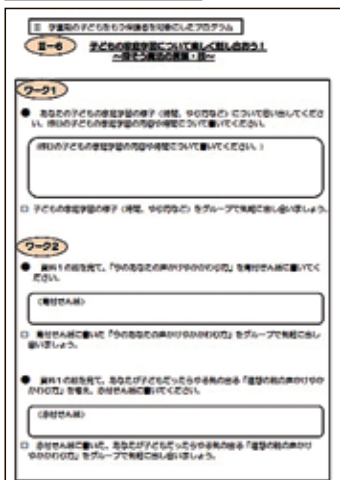
(資料:家庭教育手帳 一岡山県版一)

他の保護者の子育てのやり方を知り子どもとのコミュニケーションの参考に!

「親育ち応援学習プログラム」の活用

「親育ち応援学習プログラム」は、学校園や身近な地域で互いに交流しながら子どもとの関わり方など、子育てについて楽しく学び合うことができる参加型の学習教材です。

【プログラム例】
「子どもの家庭学習について楽しく話し合おう」



(楽しい雰囲気の中で行われます)

さらにもう一つ!!保護者同士の良好なコミュニケーションも子育ての助けに!!

就学前の「親育ち応援学習プログラム」に参加した保護者へのアンケートでは「保護者間のつながりが深まる」と答えた人が90%を超えています。

保護者の感想から

同じ思いを抱えている人たちと話をすると、共感してもらえて、ストレス解消になりました。



保護者同士のつながりができて、改めて同じ思いをしているお母さんもいるんだなと思いました。

普段思っていたもなかなか言えないことを共有できたので、今後の子育ての参考にさせていただきます。

親育ち応援学習プログラムのお問い合わせ先

岡山県教育庁 生涯学習課 岡山市北区内山下2-4-6 TEL.086-226-7597 FAX.086-224-2035

親育ち応援学習プログラム 検索

※「こころのわ」は県のホームページからダウンロードできます。

心豊かに、たくましく、未来を拓く ^{ひら}子どもたちの育成

岡山県教育委員会では、「心豊かに、たくましく、未来を拓く」人材の育成を基本目標に、5年間(H28~H32)で目指す教育や取り組むべき教育施策の方針として、『第2次岡山県教育振興基本計画』を策定し、重点的な取組を進めています。

第2次岡山県教育振興基本計画の概要 (計画期間 H28~H32)

本県の子どもたちに育みたい **3つの資質能力**

自立

自立した一人の人間として、たくましく生きる

- 学ぶ意欲・確かな学力
- 道徳性や規範意識
- 困難な課題にも粘り強く取り組むたくましさ等

共生

自他共に尊重し、主体的に社会や自然と関わる

- 自他の人格や生命を尊重する心
- 豊かな人間関係を築き、互いに助け合える力
- 多様性を認め合い、他者を思いやる心等

郷土岡山を大切にできる心

郷土岡山を大切に思い、世界に視野を広げ、より良い社会づくりに参画する

- 郷土岡山や我が国の歴史・伝統・文化などを大切にできる心
- 国際社会を生きていく力
- より良い社会づくりに参画・貢献する態度

実現に向けた取組の方向性

1 子どもたちが落ち着いて学習できる環境整備

- 子どもたちの学習意欲の向上を図ります。
- 授業規律を確保します。
- 就学前教育の充実を図ります。

就学前教育推進プロジェクト

小1プロブレムを発生させないために、小学校教育への円滑な接続に向けて、保幼小接続スタンダードの普及に努めています。

主な目標指標

小・中・高等学校における不登校の出現割合(児童生徒1千人当たり)

13.3人(H26) ➔ **9.6人以下**(H32)



保幼小接続スタンダード

2 教師の教える技術の向上と子どもの学習時間の増加

- きめ細かな指導や授業改善を進めます。
- 強い使命感、子どもたちへの愛情や指導力を持った教員を育成します。

授業改革推進リーダー・授業改革推進員の配置

高い指導力を持った授業改革推進リーダーや授業改革推進員による授業改善や校内指導体制の確立を進めています。

主な目標指標

全国学力・学習状況調査(平均正答率)の全国順位

小 28位(H27.4調査) ➔ **10位以内**(H33.4調査)

中 41位(H27.4調査) ➔ **10位以内**(H33.4調査)



授業研究で他校の実践を紹介

3 子どもたちの豊かな心の育成

- 規範意識・自尊感情の向上を図ります。
- 道徳教育を充実させます。

小学校長期宿泊体験活動推進プロジェクト

3泊4日の宿泊体験活動により人間関係構築力・自尊感情などの育成を図っています。



主な目標指標

「近所の人に会ったときはあいさつをしている」と回答した生徒の割合(公立中学校1年生)

68.1%(H27.4調査) ➔ **76.2%**(H33.4調査)

4 家庭や地域の教育力向上

- 規則正しい生活習慣と学習習慣の定着を図ります。
- 地域住民の参画による学校教育支援を進めます。

親のグッドスタート事業

保護者同士が交流しながら子育てに必要な知識やスキルを学ぶ「親育ち応援学習プログラム」等を活用して就学前の保護者の学びを支援しています。



主な目標指標

就学前に「親育ち応援学習プログラム」等を活用して保護者の学習を実施した小学校の割合

34.1%(H26) ➔ **100%**(H32)

5 グローバルな視点を持ち、様々な分野で活躍する人材の育成

- 子どもたちの英語に触れる機会を増加させます。
- 高校生の海外留学を促進します。

グローバルセミナーinOKAYAMA

留学生との交流等を通じて、豊かな語学力・コミュニケーション能力の育成を図っています。



主な目標指標

高等学校3年生で英検準2級程度以上の英語力を有する生徒の割合

36.4%(H26) ➔ **60.0%**(H32)

子どもたちの育成のためには、家庭・学校・地域と一体になった取組が不可欠です。岡山県教育委員会では、計画の実現に向け、取組を強化してまいります。御支援、御協力をお願いいたします。



G7倉敷教育大臣会合を終えて

平成28年5月13日から15日に、倉敷市において「G7倉敷教育大臣会合」が「教育におけるイノベーション」をテーマに開催されました。



県立倉敷青陵高校 コーラス部によるオープニングパフォーマンス

4月30日には、教育大臣会合に先立ち、「おかやま教育シンポジウム」を「世界を変える 岡山から育つグローバル・リーダー」をテーマに開催しました。このシンポジウムでは、「グローバル・リーダーに必要な資質」、「グローバル・リーダー育成のために現状をどう変えるべきか」について熱心な議論が交わされました。

G7倉敷教育大臣会合では、成果文書として「倉敷宣言」がまとめられました。この宣言では、「教育の果たすべき新たな役割」として、新しい時代に求められる資質・能力の育成、国際協働の更なる推進などが挙げられています。この倉敷宣言や、おかやま教育シンポジウムでの議論も踏まえ、岡山県では、グローバル人材育成を現在策定中の『新晴れの国おかやま生き生きプラン(仮称)』に盛り込むなど、これからの時代に求められる教育を推進します。



2016 情熱疾走 中国総体

7月28日(木)から岡山県を主会場県として、中国5県(岡山県、鳥取県、島根県、広島県、山口県)と和歌山県で開催したインターハイが8月20日(土)に終了しました。

岡山県内では、総合開会式と9種目(陸上競技、水球、卓球、ソフトテニス、バドミントン、剣道、登山、ウエイトリフティング、少林寺拳法)を実施し、各地で熱戦が繰り広げられました。

本県の競技成績は、優勝数が10、入賞数(8位以内)が84と、中国5県では、他の4県を大きく引き離し、全国に「チーム岡山」の力を大いに示すことができました。

総合開会式

総合開会式は、「2016 情熱疾走 中国総体」の開幕を宣言する厳かな式典と高校生による公開演技等を行いました。式典後に行われた公開演技では、県内の高校生が岡山らしさあふれる演技を披露し、おもてなしの心で会場に集まった全国の選手・監督を歓迎しました。



選手団入場行進



選手代表宣誓



歓迎のことば(生徒代表)



式典音楽隊



公開演技
(導入演技・和太鼓・創作ダンス・マーチング・合唱)

岡山県内開催競技(9種目)



陸上競技



水泳(水球)



卓球



ソフトテニス



バドミントン



剣道



登山



ウエイトリフティング



少林寺拳法

高校生活動(大会を支えた高校生)

県内の高校生が、「おもてなし 実になる想い はじける行動」を活動モットーとして、大会の開催準備・運営や来場者へのおもてなし等、インターハイを盛り上げ、支えていこうと様々な活動を行いました。



競技審判



競技運営の補助



場内アナウンス



総合案内所

高校生が振り返るインターハイ

陸上競技 100m,200m,4×100mリレー 3種目優勝
(倉敷中央高校 2年 齋藤愛美)

いつも慣れているはずの会場なのに、とても緊張しました。地元の声援や高校生の仲間の支援に「感謝」の一言です。3種目走り切れて優勝でき、最高に嬉しかったです。これから、400m等にも取り組んで、陸上競技に挑戦し続け、成長したいと思っています。

総合開会式 公開演技(導入演技)
(岡山朝日高校 2年 服部慎子)

インターハイに出場する選手の皆さんの立場になって、大会前の緊張や焦りが周りからの応援を受けて和らいでいき、自分の力を出しきって全力で勝負する、という心の動きを言葉と身体で表現することができました。

高校生活動(総合案内所)
(水島工業高校 3年 安部祐希)

倉敷駅に設置する「総合案内所」は、木材を図面どおりに加工し、作成しました。そして、倉敷の美観地区を描き、岡山らしく装飾しました。倉敷駅では、実際に案内をしましたが、多くの方々に笑顔でおもてなしすることができました。

たくさんの **ご声援** をいただきまして、ありがとうございました!

あなたの夢や希望の実現を応援!! 充実した県立高校の学び

おこやま創生を担う人材の育成

■各校では、学校設定教科・科目、総合的な学習の時間等を中心に地域課題解決型学習に取り組んでいます。

倉敷「町衆」プロジェクト (倉敷南)

郷土倉敷で活躍する「町衆」との対話により、「我が町倉敷」の課題を探る



しめ山プロジェクト (真庭)

学校の裏山「しめ山」を地域コミュニティの中心に! 地域の方と遊具の共同製作に取り組む



やかげ学(矢掛)

地域の公共施設での長期体験学習などを通して、地元の課題について、生徒自らが考える



みまさか学(林野)

地域の方々と協働して商品を企画・開発するなど、地域をフィールドに実践



あさくち山環学プロジェクト(鴨方)

地元企業や自治体と連携し、遙照山系がもたらす水資源などの環境保全活動により、地域に貢献する人材を育成



世界に羽ばたけ! グローバル・リーダーの育成

SGH スーパーグローバルハイスクール(岡山操山、岡山城東) 将来、国際的に活躍できるグローバル・リーダーを育成

海外の高校との連携

オーストラリアの高校と連携して、海外フィールドワークや日本文化の紹介等のワークショップを行う(岡山操山)



海外修学研修

イギリスの高校、大学、国際機関等を訪問し、「GLOBALII」(課題研究)での研究成果の発表や意見交換を英語で行う(岡山城東)



深い学びの実現に向けた取組

高校生のためのアスペン古典セミナー(県立9校)東西の古典をテキストに、著名な大学教授や企業経営者のコーディネートを受けながら、高校生同士の対話を通して、人生や社会について考える



科学技術の発展を担う人材の育成

SSH スーパーサイエンスハイスクール(岡山一宮、倉敷天城、玉島、津山) 理数を重視した教育課程の編成により、先進的な理数教育を実施

課題研究

自ら設定した課題について研究した成果の発表(津山)



国際性の育成

外国人講師による英語での化学実験(倉敷天城)



特色ある科目

ものづくりを取り入れた学校設定科目「科学と工学」(玉島)



全国レベルの研究発表会で入賞

第13回高校生科学技術チャレンジ優等賞(岡山一宮)

国際科学技術コンテストの全国大会で県立高校生がメダルラッシュ!

物理チャレンジ2016

金賞(岡山朝日、倉敷天城)
銀賞(岡山朝日)



化学グランプリ2016

大賞(岡山朝日)
金賞(倉敷天城)
銅賞(津山)



日本生物学オリンピック2016 敢闘賞(倉敷天城)

次代を担うプロフェッショナルの育成

地元企業と連携した中学校体操服の商品開発(岡山南)

私たちのデザインした体操服で、体育の授業や部活動が、もっと楽しくなる!



「アグリ・夢・みらい塾」の開催!

若手農業経営者と農業の魅力を語る(高松農業、興陽、瀬戸南、井原、新見、真庭、勝間田、高梁城南)



世界初! 有人トライブリット軽量飛行機のジャンプ飛行に成功(水島工業)

未知の新技术開発への挑戦! 7年越しの夢叶う!



平成27年度「岡山県児童生徒いじめ防止ポスター・標語」県教育長賞・優秀賞作品

県教育委員会では、6月の第1月曜日からの1週間を「いじめについて考える週間」と設定し、学校や家庭、地域において、いじめを許さない意識や態度を育み、いじめの未然防止に向けた取組の充実を図るとともに、「いじめ防止ポスター・標語」の募集を行っています。

次の作品は、平成27年度に応募のあった作品のうち、県教育長賞及び優秀賞を受賞された作品です。

※学年は平成27年度のものです。

岡山県教育委員会教育長賞



里庄町立里庄西小学校5年
河田 陽菜

自分は見たけど見ていないふり、聞こえたけど聞いていないふり、知っていても言わないふり。これらは全部自分はしていないつもりでもいじめになります。その事をサルにたとえて伝えようと思って描きました。

『いじめない ゆうきをもとう わたしから』

倉敷市立茶屋町小学校2年 小坂 亜香

いじめている、いじめられているところを見てだまっているのは、いじめているのと同じだから、勇気をもって声をかけて、それがみんなに伝わっていけば、助けることも、いじめをなくすこともできると思います。



『助けてと言えない気持ちに 気づきたい』

美作市立作東中学校1年 永谷 春菜

いじめられても、誰にも言えずに一人で悩んでいる子もいると思います。気づいてくれる人がいるだけで苦しみが軽くなります。私はそんな苦しみに気づき、寄り添ってあげられる人になりたいと思いこの標語を作りました。



優秀賞



赤磐市立桜が丘小学校1年
安藤 瑞姫



真庭市立天津小学校2年
道下 温斗



倉敷市立西阿知小学校3年
安原 悠太



倉敷市立二万小学校4年
瀬尾 優介



岡山市立西大寺中学校1年
那須 愛美



笠岡市立真鍋中学校2年
久一 倫子



笠岡市立笠岡東中学校3年
小林 優奈



県立高梁城南高等学校1年
稲富 琳子

『やめようよ なかまはずれとしらんぷり』
岡山市立西大寺小学校1年 笹井 愛奈

『その言葉 自分が言われて 気持ちいい?』
赤磐市立山陽北小学校3年 西俣 智佳子

『その言葉 やさしい心 入ってる?』
総社市立総社中央小学校4年 武本 和樹

『変わったよ きみが言った 一言で』
浅口市立六条院小学校6年 荒砂 舞

『その空気 流されなくて たち切って』
笠岡市立笠岡東中学校1年 山河 美郷

『君の目は いつまでいじめを 見逃すの?』
和気町立和気中学校2年 天藤 颯哉

『考えて その一言の そのあとを』
岡山県共生高等学校2年 片岡 紗良

『気づこうよ 画面の向こうで 流れる涙』
県立岡山操山高等学校3年 後藤 はるか

平成27年度 大好評!「わが家のすこやか日記」

泣いたり、笑ったり、時にはおこったりと子育ては日々ドラマの連続です。「わが家のすこやか日記」では、家族のふれあいや子育てに関するエピソード等、子どもから大人まで様々な世代の方から昨年お寄せいただいた作品のうち、優秀作品11作品を紹介いたします。(学年は受賞時)

お母さんのお手紙でがんばれるで賞

『おべんとう』

倉敷市立味野幼稚園 山根 菜音

ぼくのおべんとうにはいつもママのおてがみがはいています。ぼくはおてがみがうれしいです。おてがみにきょうのおやつがかいてあるとおべんとうよりたのしみです。おべんとうにきらいなものははいていてもがんばって食べます。

すてきな家族の団らんで賞

『わが家のルール』

真庭市立中津井小学校 第2学年 大森 ころこ

わたしのいえには、ルールがあります。それはノーメディアデーです。テレビを見ないことです。わたしはちょっといやだけど、いもうと、おもちゃやピアノであそびます。なので、「おなかついた〜。」と言いがらたべます。そして、夜もノーメディアデーです。きょうあったことを一人ずついいます。みらいとおかあさんおとうさんとゲラゲラとわらいます。よるの時間はたのしいです。「ごちそうさまー。」「ハッハッハッハッハッハッ。」

お母さんの思いが伝わったで賞

『わたしの手紙』

倉敷市立万寿小学校 第4学年 高下 紗季

私は、お母さんとけんかをしてしまいました。私がクローゼットにいたとなんとなくお母さんのけしう箱を見たり、はつとしました。お母さんのけしう箱に大事なお母さんの手紙がはいていました。わたしは、なみだがでそうになりました。わたしは、一生けんめいかじをしているお母さんを見て「あやまろう。」と心から思いました。

「伝えること」は大切に賞

『つたえる』

岡山市立妹尾小学校 第6学年 美藤 さくら

私の家でかならずやること。それは、自分が思ったことはすぐに口に出して伝える、というのをしています。そのきっかけは、お父さんです。私のお父さんは私が一年生のとき、急になくなってしまって、私達が伝えたいこと、言っておきたかったことなど、ぜんぜん伝えられなかったのです。とってもおかしいです。だから、自分が思ったこと、言いたいことは、伝えよう!ということからはじまりました。そのおかげで、今こうかいていることはありません。これからも続けていきたいです。

お父さんの宝物になったで賞

『父の日に』

県立津山高等学校 第1学年 河本 明日佳

いつからか、父と話す機会もかなり減ってしまった。父の日も、ここ数年何もしていない。そんなことをふと思い、夕方にレターセットをとりだして手紙を書いてみた。少し恥ずかしかったが、父の日に渡した。すると一あ父が泣いた。初めて見た。なんだか、恥ずかしさはもうなくて、うれしかった。家族もずっと一緒にいられるわけじゃないし、自分の気持ちを伝えられることがこんなに大切に素晴らしいんだと思った。

父の背中を見て育ったので賞

『最後の親子ゲンカ』

倉敷市 若狭 庸子

「中学の先生からでんわだよ。」と毎週くらい私の会社に電話がかかる。十五年前息子はいわゆるヤンキー、金髪にピアス、夜間補導。作業着姿の主人と何度頭を下げただろう。そんな息子が三年後いい就職を付けてしまった。「スーツ着て楽ができるじゃろうが。」と怒った父。「誰が親父の仕事が汚いかいやなんて言ったか。俺は親父みたいないい職人が夢なんじゃ。」と言いつつ返した。それから主人は息子を叱れなくなった。今は建築士になり、父をすでに超えている。

家族みんなで食べるとおいしいで賞

『きょうのおひるごはん』

勝央町立勝間田小学校 第1学年 西元 和夏

おかあさんがいそがしかったので、おとうさんとしょにそうめんをゆがしました。つくえにすわっておとうさんとおねえちゃんと、たべました。おいしかったけどおかあさんがすわっていないから、いつもとちがいました。とちゅうからおかあさんがきて「つくってくれたんじやなーありがとーありがとー。」といました。びっくりするくらいそうめんがおいしくなりました。やっぱり四人がいいな。もうちょっとまったら、よかったかな。

お父さんの優しさが伝わるで賞

『お父さんのぎゅう』

高梁市立松原小学校 第3学年 谷 美悠

お父さんは、仕事から帰ってくると第二人と私の三人を必ずぎゅうとかわりばんこにだっこしてくれます。とても気持ちよくて、うれしい気持ちになります。それを見て、お母さんはいつもわらいながら、「うらやましいわあ。」と言います。私は、これからはおとうさんにぎゅうとしてほしいです。

おばあちゃんに感謝で賞

『おばあちゃんからの注意』

倉敷市立万寿小学校 第5学年 松下 未侑

私の家では、いつもみんなでごはんを食べています。お父さんは仕事でいないのでお母さん、おばあちゃん、おじいちゃん、妹と食べます。ごはんを食べる時になると、私はとてもいやになります。「今日もまた言われるのかあ。」と。私がごはんを食べているといつもおばあちゃんに「おぎょうぎが悪いよ。」と注意されます。私はそれがいやなのです。「気をつけているのに。」と思います。ところがある日、私の友だちに「おぎょうぎがいいね。」と言われました。私は「これはおばあちゃんのおかげだ。」と思うれしかったです。おばあちゃんいつも注意してくれてありがと。

家族のアルバムは愛情のしるしで賞

『家族写真』

岡山市立興除中学校 第3学年 石丸 海里

うちの家族は、私の誕生日や何かの節目の日になると、きまって家族写真を撮ります。これは、私が生まれる前から続く家族の行事のような物になっています。撮った写真は一つのアルバムにまとめられていて、いつでも見られます。両親が若い頃の写真もあって、「こんなだったのか・・・」と今と変わりに驚いたりもします。この写真を見ると今までどれほど大切に私を育ててきてくれたかが、ものすごく伝わってきます。この愛情をいろんな形で恩返ししていきたいと思いました。

お母さんのすてきな子守歌で賞

『とーさんとかーさんの宝物』

真庭市立天津幼稚園 保護者 今石 真理子

六才と三才の娘たちに寝る前に毎晩必ず「かなちゃんとなるちゃんは、とーさんとかーさんの宝物じゃけん。」と言います。布団に入って寝る準備ができると「ほんなら言うて!!」と上の子が言うので、それが合図です。一度で言うことを聞かず、怒られてふてて布団に入った夜でもこの一言を言わないと一日が終わった気がしない私です。何がきっかけで言い始めたのか全く覚えていませんが、かれこれ二年半はたちます。この一言が子守歌替わりのように安心して寝られるうちは、夜勤はしたくないなあと思う私です。

シリーズ教育相談 Q&A

「子どもが学校に行けなくなった原因が分かりません。どうしたらいいでしょう…」



小学5年生女子の母親です。一学期、娘は、楽しそうに登校していました。しかし、二学期になってすぐ、友達とのトラブルをきっかけに、朝、腹痛を訴えて登校をしづらくなりました。トラブルは担任の先生にも伝え、すぐに解決しました。娘は、それまで友達とトラブルを起こしたことがなかったので、多少ショックを受けている様子でしたが、その後は、普段通り登校していました。

しかし、9月下旬には、また、登校をしづらくなり、ついに欠席するようになりました。理由を聞いても、娘は、「別に。」と言うばかりです。休んだ日は、必ず仲の良い友達から電話がかかります。娘も友達とのトラブルは関係ないと言いますが、登校できなくなったのは、やはり、友達関係が原因なのでしょう。登校できなくなって一か月ほど経とうとしています。娘には以前のように楽しく登校してほしいと思っています。今後、私は、娘にどう接していけばよいのでしょうか。



お子さんが登校できなくなったことを考えると、さぞ、ご心配のことだと思えます。これからどう接していけばよいか一緒に考えてみましょう。友達とのトラブルをきっかけに行きしづらくなったようですが、お子さんは、友達とのトラブルの後、友達関係にいろいろと気を遣ったのではないのでしょうか。そのため、疲れが出ていたのかもしれない。もしかしたら、お子さん自身もそのことに気付いていなかったかもしれません。

不登校の原因は一つではなく、いくつかの要因が複雑に絡み合っていることが多いと言われています。原因は不明確でも、登校に向けてお子さんを支えることはできるのではないのでしょうか。

不登校になると原因をさぐりがちですが、むしろ、再登校に向けてできることを考えましょう。不登校は、心のエネルギーが使い果たされた状態と言われることがあります。学校は、子どもたちにとって楽しい場所であると同時に、心のエネルギーをたくさん使う場所でもあります。心のエネルギーが少ないと、自分でも気付かないうちに無気力になってしまったり、ささいなことでも行きしづらくなってしまったりすることがあります。

一方、心のエネルギーが充電されると、元気を取り戻し、仮に、友達関係で嫌なことがあっても、それを乗り越えることができるようになります。

まずは、心のエネルギーが充電されるようにお子さんに接してみようでしょうか。例えば、お子さんが語ることを丁寧に聴いたり、一緒に出かけたりするなど、共に過ごす時間を増やしてみようでしょうか。また、お子さんなりに頑張っていることを認め、できたことはほめてあげましょう。誰かに認めてもらうということは、心のエネルギーの最大の補給源となります。

その後、「家にいることに退屈感が見られる」「自分から学校の話話を話す」「勉強の遅れを気にし始める」というような様子が見え始めたら、心のエネルギーが充電されたサインです。この時期になると、何らかの「きっかけ」で再登校し始めることが多いと言われています。学校行事などが「きっかけ」となりやすいので、担任の先生と連絡を取りながら、さりげなくお子さんに伝え、登校を促してみてもよいでしょう。

担任の先生とは、お子さんだけでなく、お母さんも連絡を取り合い、再登校する際には、座席や班のメンバーを配慮してもらうのもよいでしょう。

再登校について一緒に考えていく相談機関もあります。まずは、次の窓口にご相談ください。



「うちの子どもが学校に行けなくなって心配です。」「子育てに自信が持てません。」など、いじめや不登校、子育てや教育上の様々な問題で悩んでいませんか？

ひとりで悩まないで

県内にはそうした悩みを気軽に相談できる場所がたくさんあります。下記に紹介する相談窓口は、いずれも信頼できる機関であり、相談内容などの個人の秘密は固く守られます。

相談は臨床心理士など専門的資質を備えた教育相談員や医師、学生ボランティアなどがあたり、24時間電話相談や面接相談など相談方法も多様となっています。

ひとりで悩まず、気軽にあなたに合った窓口にご相談ください。

子育てに悩みはつきものです。

ひとりで悩まず、相談しましょう。

こんな悩みがありませんか？

何度言っても同じことばかり…

言えと言っただけのことを子どもがしてくれるなら、こんな楽しいことはないですよ。どんな工夫ができるか一緒に考えましょう。

他の子どもはできているのに…

原因や背景は色々あるかもしれません。発達の状態に応じた関わり方について、アドバイスします。

欠点ばかりが気になる…

自分の子どもの欠点は長所より目につくものですが、他の見方ができるかもしれません。

岡山県青少年総合相談センター ～ハートフルおかやま110～

ホームページは「ハートフルおかやま110」で検索
場所：岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館「きらめきプラザ」4階
岡山市北区南方2丁目13-1

6つの相談窓口が相互に連携し、青少年や保護者をサポートします。

相談窓口	電話番号	相談方法等	相談日時・内容
総合相談窓口	(086)224-7110	電話相談・面接相談(要予約)・メール相談 sodan110@po1.oninet.ne.jp	8:30~21:30 (メール相談は24時間受付) どんな相談もOK、相談内容に応じて他の窓口も紹介
教育相談	(086)221-7490	電話相談・面接相談(要予約)	8:30~21:30 いじめ、不登校、非行、教育、性格・行動等の相談
進路相談	(086)224-1121	電話相談・面接相談(要予約)	8:30~17:00 不登校生徒や高校中退者等の進路の相談
子どもほっとライン	(086)235-8639	電話相談・メール相談 kodomo@fine.ocn.ne.jp	17:00(土・日・祝日は8:30)~21:30 学生ボランティアが受付 子ども自身の悩み、学習、性格・行動等の相談
すこやか育児テレホン	(086)235-8839	電話相談・メール相談 sukoyaka@po1.oninet.ne.jp	8:30~21:30 (相談受付) 保護者自身の育児の悩み、非行、教育、性格・行動、言葉、心身の障害・発達の遅れ等の相談
ヤングテレホン・いじめ110番	(086)231-3741	電話相談・面接相談(要予約)・メール相談 youngmail@pref.okayama.jp	24時間受付 (面接8:30~17:00) いじめなどの悩みや非行、家出などの少年相談

岡山県総合教育センター

ホームページ <http://www.edu-ctr.pref.okayama.jp/>

相談内容	電話番号	相談日時等
不登校・いじめなど学校生活に関する事 学業に関する事 家庭教育に関する事 など	(0866)56-9115	面接相談 月・水・木・金曜日 9:00~19:00 (要予約) 火曜日 13:00~19:00
発達や障害に関する事 障害のあるお子さんの学習面などの学校生活に関する事 障害のあるお子さんの家庭生活に関する事 など	(0866)56-9117	電話相談 月・水・木・金曜日 9:00~17:00 (随時) 火曜日 13:00~17:00 ※土・日・祝日・振替休日はお休みです。
医師による教育相談	上記電話で相談予約	面接相談 原則、毎月第4水曜日 16:00~18:00 (要予約) ※相談内容によっては、お受けできない場合があります。

※面接相談では、親子それぞれに別の相談員が担当する並行面接を中心に行なっています。 ※保護者の希望により、学校や医療機関などの連携が可能です。
※医師による教育相談は相談日時が変更になる場合がありますので、まず、電話でお申し込みください。

◆各地域の少年サポートセンター・青少年育成(補導)センターなど、このほかの相談機関についてはホームページをご覧ください。

主な相談機関 岡山県

24時間子供SOSダイヤル
(24時間受付・フリーダイヤル)

なやみ言おう
0120-0-78310